

那須塩原市選挙管理委員会 委員長様

投票率向上への提言書

令和4年5月19日

那須塩原市議会
議会活性化特別委員会

はじめに

本市をはじめとする全国的な問題として、各種選挙における投票率低下の問題が起きている。

本市の最近の投票率は、令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙で50.75%、令和3年4月25日執行の市議会議員選挙で42.66%、令和2年11月15日執行の栃木県知事選挙で37.98%となっている。

選挙とは、住民がより良い暮らしを願って、住民の代わりにその思いを実現してくれる人々を選ぶ仕組みのことであるため、投票率の低下は政治への信頼を損なうことにつながるものと考えられる。

当特別委員会では、各種選挙に見受けられる選挙の投票率の低下を懸念し、投票率の向上に寄与する可能性のあるものを様々な視点から排除せずに検証及び検討を行った。

更に、私たちの暮らしの根幹に直接の影響、さらには民主主義の土台である選挙での投票率向上に期待する内容を協議することとした。

当特別委員会における検討結果

本市として、全体的な投票率の低下とともに、年齢別投票率から若者の投票率が低調であることが確認された。

(令和3年4月25日執行市議会議員選挙においては、全体の投票率42.66%、18歳～19歳の投票率25.38%、20歳～24歳の投票率19.73%)

投票率の向上のためには、より投票しやすい環境の整備と広報啓発が必要と考えることから、全委員で問題意識を共有し、忌憚の無い協議の場として多くの活発な議論を行った。

今後のさらなる調査研究と対応に期待を申し上げ、当特別委員会の提言をここに以下の通り提出するものである。

更に、今回の投票率の向上と併せて、『投票時間の繰り上げ』を早期に検討することを強く要望する。

投票時間の繰り上げは県内でも近隣市町をはじめ、多くの自治体でも実施されている現状がある。

本市においても早期の実施を期待する市民の声や選挙に携わる担当者の働き方改革、財源の節約の観点から必要と考えられることから、実現に向けた取り組みを期待する。

那須塩原市議会議長

松田 寛人

議会活性化検討特別委員会

委員長 益子 丈弘

副委員長 星野 健二

委員 森本 彰伸

委員 山形 紀弘

委員 齊藤 誠之

委員 星 宏子

委員 平山 武

委員 金子 哲也

議会活性化委特別委員会における提言

目的：投票率向上への取組の検討

投票に関すること

期日前投票について

- スーパー等への期日前投票所を増設すること
 - 自治公民館のデジタル環境整備と期日前投票所設置の研究を行うこと
 - 高校への期日前投票所設置すること
-

投票所について

- 交通の便が悪い場所への移動投票所の検討を行うこと
- 共通投票所など、投票しやすい環境づくりの研究を行うこと
- 投票所のバリアフリーを進めること
- 投票所ごとの、車いすが必要な方など、配慮が必要な方を把握すること

啓発に関すること

若年層への取り組みについて

- 学生へ不在者投票方法の周知を進めること
- 学校や保育園等での主権者教育を行う場合、教育委員会や保育課と連携を図るなど、部を横断して協力を行い、主権者教育を推進すること
- 子どもを持った若い子育て世代や高校生などそれぞれの年齢層に向け、適切に広報を行うこと
- 模擬議会の実施に関し、協力すること

選挙管理委員会について

- 投票率の向上に向けた効果的な広報を行うこと
- 選挙管理委員への若い世代の参画またはオブザーバーとしての参加を行うこと
- 若者目線の取組、視点を導入する事で課題解決の方向性を検討するため、『若者選挙管理委員会』創設の研究を行うこと

その他

- 市議会が行っている高校生との意見交換会、出前講座、子ども議会探検に協力すること